

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	(一) 栃原北郷信濃線 <small>とがはらきたごうしなのせん</small>		えいほう 栄峰	事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	年度～	年度	
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路改良工 L=100m W=4.0(6.0)m				H23年度末事業進捗率	0%		
	H24年度以降残実施内容	同上				本工事費等ベース	0%		
	H24年度実施内容	-				用地補償費ベース	0%		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	5,000	0	0	0	5,000			
	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	その他								
	県債	0	0	0	0	0			
	一般財源	5,000	0	0	0	5,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(30)	必要性 <small>(道路網)</small>	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上~4,000台/日未満	1,500台未満	C	2	
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			5	
			ネットワーク	バス路線である	B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		0	
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない	0			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない	0				
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)	0			
		自動車と自転車・歩行者との分離を図る	歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	0				
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施	0					
	小計						7		
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ確実性が高い	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	環境・景観配慮をしていない	A	5	
			地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		3	
		小計						8	
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果を得られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5	
			事業効果の早期発現(H24以降残事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年~5年以内	事業年数 6年以上		8	
			コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない		7	
		小計						20	
	(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	C	6	
			各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		0	
		小計						6	
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない	4				
	小計						16		
費用対効果(B/C)		28.2		評価の合計		B	57		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(一) 栃原北郷信濃線は、長野市と信濃町を結ぶ重要路線である。当箇所は急カーブで見通しが悪く、地元からの要望が強い。							
	地域からの要望経緯	栃原北郷信濃線改良促進期成同盟会から、毎年要望されている。							
	事業説明等の経緯	長野市へ説明。							
	環境・景観への配慮項目	構造物を施工しない。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	特になし。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	評価レベルが低いため、事業化を見送りたい。			政策評価課見	必要性がやや低い。				